



数学不安

観測史上タイ記録の早い梅雨入りとのことですが、本当に梅雨なのかという空模様が続きますね。

梅雨入りや 心の位置を さがしけり

さてこれは俳句結社「河」の新人賞を受賞した期待の小学生俳人、田中瑠璃さんの句です。そう言われてみると、こんな季節はなんとなく心細い気持ちになりがちかもしれません。

それでは、こんな不安もあるよという、アメリカのシカゴ大学の最新研究のことを紹介しましょう。この大学のライオンズ博士たちのグループが、数学嫌いの人に「数学の教科書を受け取る」という動作をさせ、その時の脳の活動を fMRI という特殊な装置で調べてみたそうです。すると、実際に脳の中の痛みを感じる部分が活動していたといいます。ところが、実際に数学の問題を解いている時には痛みを感じる部分は活動していなかったということもわかりました。博士らは、苦痛の原因は数学そのものではなく、数学に対する不安であり、それを改善することが教育現場に必要なではないかと述べています。

この研究結果はかなり納得できます。なぜなら、塾に来ている生徒の中にも同じような状況が見られるからです。いざ始めてしまえば少しずつできてくるのに、とにかく取り掛かりが遅いのが数学嫌いの人の特徴です。でも不安で脳に痛みを感じているということであれば、「早く始めなさい！」とだけ言っている訳にもいきません。どうやって不安を取り除き、取り掛からせるかの工夫が必要です。数学は正解と不正解がはっきりしているため、惜しいところで不正解の時でも「やっぱり自分はダメだ」と思い込みやすいのかもしれませんが。一度でも苦手とか嫌いという思いが生じてしまうとそれが不安につながりやすい科目でもあります。

結局、各自の思考過程を一緒にたどりながら、つまづいているところや勘違いしているところをみつけてあげること、そしてできるところを少しでも増やし自信をつけてあげることこそ特効薬かも！